



せつぶん



R5. 2. 3(金)



今日は節分の日。にじ・もも・きく組さんは集まって、「なぜ、せつぶんには豆をまくの？」という紙芝居をみました。「もし、みんなの心の中に『泣き虫オニ』や『いやいやオニ』『いじわるおに』がいるとしたら、鬼さんがその

『悪いもの』をもって帰ってくれる」こと、「自分の胸に手を当てて、よく考えて、自分の中に『良くないな』って思うものがあれば、新聞紙の豆にその気持ちを込めて、鬼さんに持って行ってもらいましょう！」とお話がありました。自分の胸に手を当てて考えて、時にはちょっと心当たりがあるのか、顔が曇ってくる子もいました…。本当に子どもって、素直ですよね 😊 (笑) どの子も「たくさんの福(幸せ)がきますように」という気持ちを込めて「おにはそと！ふくはうち！」と、頑張りました！！



おにがきた！！

なんと・・・
みんなに、やっつけられたオニが改心！？
握手をしたり、記念撮影をしたりして、
鬼は帰っていきました。
(最後に子どもたちと打ち解けるのが、
西山台にくるオニの良いところです(笑))



鬼さんが優しくなると・・・
みんな優しいから、
ついつい言っちゃうんです。
「また来てね(^_^)」って・・・ 😊

もしご家庭に鬼さんがおられましたら、鬼退治をして、たくさん“福”を呼び込んでくださいね。

